Fax:520-882-7643



Rec'd PCT/PTO 19 OCT 2005

特許協力条約に基づく国際出願	PCT/JP03/12689	
顧書	图際出願日 02.10.03	
出願人は、この国際出願が特許協力条 約に従って処理されることを請求する。	(吳內阿) PCT International Application 日本国特許庁	
	田朝人又は代理人の事類配号 (帝皇ナを母命、最大18年) CPTA1402AU	
第 1 欄 発明の名称 血流可視化診断装置		
第 日 福 出原 人 レニの機に記載した参は、差別者でもある		
氏名(名称)及びあて名:(姓·名の順に記載;法人は公式の完全な名称を配數;是	で 名は野原 音号及び 回名 も 記載 )	
早瀬 敏幸 HAYASE Toshiyuki	ファクレミリ番号 022-217-5253	
〒989-3202 日本国宮城県仙台市青菜区中山台 3-4-3, Nakayamadai, Aoba-ku, Sendai-shi, Miyag		
989-3202 JĂPAN	出版人登録查号:	
	f (図名): 日本国 JAPAN	
この機に記載した者は、次の 粉を図についての出願人である。	くすべての指定型 米国のみ 過距隔に記載した指	走国
第五欄 その他の出願人又は発明者		
エル (4 体) 五元七十点、「法、在の間に記載、済人ける子の命令かな分を記載、あ		
氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の駅に記載: 送人は公式の完全な名称を記載: あ 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町 1 1 ー 2 9 ペル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN	次に放当する:  出版人のみである。  「出願人及び発明者である。 ・シオン仙台 I - 3 0 1	
船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青葉区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   シオン仙台 I ー 3 O 1   ス明学のみである。   (ここにり配き付したときは、以下に記入しないこと)	
船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN 日本国 JAPAN  Eの側に記載した者に、たの レートスでの複変	次に放当する:   出版人のみである。   上版人及び発明者である。   上版人及び発明者である。   次明すのみである。   にこにレ印を付したときは、以下に記入しないこと   出版人登録番号:	
船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青葉区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN 日本国 JAPAN 年月	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   上版人及び発明者である。   「たまにレ明を付したときは、以下に記入しないこと	
船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN 日本国 JAPAN 住房 この側に記載した者は、たの	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   上版人及び発明者である。   「たまにレ明を付したときは、以下に記入しないこと	
船本 健一 FUNAMOTO Kenichi  〒981-0935 日本園宮城県仙台市青葉区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  は別様(図名): 日本国 JAPAN  は別様(図名): 日本国 JAPAN  は別様(図名): 中本国 JAPAN  は別様にお称した者に、たの 将本国についての出版人である。  「一十一へての規定図 ※国を除く では、この他の出版人又は現場様が就職に記載されている。	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   上版人及び発明者である。   「たまにレ明を付したときは、以下に記入しないこと	
船本 健一 FUNAMOTO Kenichi  〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  E  「日本国 JAPAN 住房  この側に記載した者は、たの 位在国についての世界人である。 「「すべての加度日 ※国を除ぐ ではの地の世界人又は共通の代表者、通知のあて名	大田田	
船本 健一 FUNAMOTO Kenichi  〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  E別籍(四名): 日本国 JAPAN  E別籍(四名): 中本での協定関  できる回じた者は、たの できるでいての出頭人である: アイマの協定関  できるの中の出頭人である: アイマの協定関  が中の他の出頭人ではたいての出頭人である: アイマの協定関  が中の他の出頭人ではたいては現場では実に定義されている。  第1V村間 代理人又は共通の代表者、通知のあて名  大に記載された者は、国際機関において出順人のために行動する:	大型	
船本 健一 FUNAMOTO Kenichi  〒981-0935 日本園宮城県仙台市青葉区三条町 1 1 - 2 9 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  田瀬 (四名): 中本国 JAPAN  田瀬 (四名): 中本国 JAPAN  田瀬 (四名): 中本国 JAPAN  田瀬 (四名): 中本国 (本の間に記載されている。  第174 村 代理人又は共通の代談者、通知のあて名  本に定載された者は、国際機関において出潮人のために行動する:  日本 (名は) 及びあてる:(法・名の間に記載:法人に公式の完全な名件を記載:あ  9872 弁理士 重信 和男 SHIGENOBU Kazuo 〒102-0083 日本国東京都千代田区麹町4丁目6名	大田	

PAGE 2/29 \* RCVD AT 10/19/2005 7:01:10 PM [Eastern Daylight Time] \* SVR:USPTO-EFXRF-5/25 \* DNIS:7466702 \* CSID:520 882 7643 \* DURATION (mm-ss):07-16

Oct	19	'05	16:23
	.••		
2	•	•••	

	Ρ	٠.	0	3												
•	:	•	••	:	:		•		•	•	•	٠	:	•		:
	٠.	_	• -	_	÷	_	_	ē	÷			ï		•	•	:

第車機の続き そ	その他の出願人又は発	购客			
,		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	H T = = = = = = = = = = = = = = = = = =	書に含めないこと。	
氏名 (名称) Pバキアタ・/	セ・名の順に記載; 法人は公式の完全	44.50	は、この用紙を競	書に含めないこと。	
白井 敦 SHIR. 〒980-0813 日:	Al Atsushi 本国宮城県仙台市青澤 gafukuro, Aoba-ku, Si	寛文 米ヶ	袋 2 1 :		この標に配載した者は 次に誤当する:  出版人の子である。  出版人及び発明等である。  「見明者のみである。 (ここに レ印金付したときは、 以下に記入しないこと)
回線 (阿名) 日本				_	出類人型気番号;
国籍 (国名): 日本	国 JAPAN		住所(国名):	日本国 JA	PAN
指定圏についての出頭人である	5: ンナペての指定国		と除くすべての指定し		追起欄に記載した指定器
55名(名杯)及びあて名:(202	・名の順に記載:差人は公式の完全の	な名称を記載	; あて名は郵便番号	及び国名も配款)	この権に記載した者は 次に該当する:
山家 智之 YAM	IBE Tomoyuki				出願人のみである。
〒982-0803 日本	国宫城県仙台市太白	区金剛》	₹1 — 4 — 3	. <b>0</b>	<b>レ</b> 出願人族び葵明者である。
1-4-30, Kongosaw 982-0803 JAPAN	va, Taihaku-ku, Senda	ai-shi, M	liyagi		展別者のみである。 (ことにレ何を対したときは、 以下に犯入しないこと)
			***************************************		出版人登录者号:
国籍 (国名): 日本国	国 JAPAN		生所(因名):	日本国 JA	PAN
この機に配載した者は、次の 樹定国についての出願人である	ナペイの指定国	米国金	黛くすべての指定型	米型のみ	過配標に配載した指定国
氏名(名称)及びあて名:(煙・	・名の順に記載:並入は公式の完全な	这种它现象;	あて名は郵便型分裂	び四名も足数)	この領に記載した客は
西條 芳文 SAIJO	) Yoshifumi				次に該当する:
〒989-3202 日本 3-4-5, Nakayamad 989-3202 JAPAN	国宫城県仙台市青葉B lai, Aoba-ku, Sendai-s	茎中山台 shi, Miya	3 — 4 — 5 agi		<ul><li>✓ 出版人及び発明者である。</li><li>─────────────────────────────────</li></ul>
					出順人登録番号:
国务 (图名): 日本国	JAPAN	Œ	·所(图名):	日本国 JAF	'AN
この様に記載した者は、次の 樹皮団についての出版人である。	✓ すべての指定圏		くすべての指定国	米国のみ	迎起機に乾穀した裕定盟
<b>成名(名杯)及びあて名:(2左・:</b>	名の類に乾穀;佐人は公式の完全な名	名殊を記載 ; 。	あて名は鄭便雪号及。	び国名も記載)	この様に記載した者は 次に該当する:
	•				<b>出願人のみである。</b>
					出願人及び発明者である。
					発明者のみである。 (ここにレ印を付したときは、 以下に起入しないこと)
				ļ	出頭人至級警守:
<b>国籍(图名)</b> :		住戶	死 (国名):		·
の標に記載した者は、次の fを国についての出頭人である:	サペ ての指定国		くすべての指定国	米国のみ	途記機に記載した指定回
その他の出職人又は発明者が何	さの規葉に記載されている。	,,			Land
EPCT/RO/101 (物本) (					

第V閥 図の指定 (23するロド	・レ印を付すこと:少なくとも1つの口にレ印を付すこと)。	
規則 4.9(a)の規定に基づき次の指定を行う。ほかの理	頭の係接又は取扱をいずれかの指定図(又は OAPI)で求	める場合には追捉機に記載する。
広域特許		
□AP AR I PO特許: GH#	ーナ Ghana, GMガンビア Gambia, KE	ケニア Kenya, LSレント Lesotho,
MW7771 Maliawi, MZ3	ザンビーク Mozambique, S D スーダン Sudar	i、 S Lシエラ・レオネ Sierra Leone。 「Gウガンダ Uganda、 Z Mザンピア Zambia。
Z Wジンパブエ Zimbabwe, 及	びハラレプロトコルと特許協力条約の締約園である	ら他の国(他の種類の保護文法取り扱いを求める権
-   合には点線上に記載する)		- •
K Gキルギスタン Kyrgyzstan, Federation, T J タジキスタン 総約国である他の図	Tajikistan, TMトルクメニスタン Turkmenist	ブァ Republic of Moldova。 R Uロシア Russian Lan, 及びユーラシア特許条約と特許協力条約の
ロEP ヨーロッパ物許:ATX	ーストリア Austria。 B EベルギーBelgium。	CH and L I スイス及びリヒテンシュ
スペイン Spain. F I フィンラ: I E アイルランド I reland, I Netherlands, P T ポルトガル I 及びヨーロッパ特許条約と特許協力	Tイタリア Italy, L Uルクセンブルグ Luxem Portugal,S E スウェーデン Swedon,T R トル 条約の締約国である他の頃	図 United Kingdom, GRギリシャ Greece, bourg, MCモナコ Monaco, NLオランダルコ Turkey,  CF 中央アフリカ Central African Republic
ギニア Guinea. G Q 赤道ギニア	アンボアール Cate divoire。 C.Mカメルーン Ca Equatorial Guines。 G.Wギニア・ビサオ Guin	imercon, GAガボンGabon, GN nea-Bissau, MLマリMali, MRモーリタ
ニア Mauritania, NEニジェール Niger,		ica bibbad, 101 E 7 Maii, 101 E C - 77
S N セネガル Senegal T D ラ 及びアフリカ知的所有核機構のメン 点線とに記載する)	"ヤド Chad, T G トーゴ Togo, バー関であり特許協力条約の締約国である他の回	(他の程程の保護又は取り扱いを求める場合には
国内特許(他の種類の保護又は取り扱いを		
□ A Eアラブ首長国連邦	□ G 定 グルジア Georgia	□ N Z ニュー・ジーランド New Zealand
United Arab Emirates	□GHガーナGhana	makata
□ A Gアンティグア・バーブーダ Antigus and Barbuda	□ GMガンピア Gambia □ H R クロアチア Croatia	□ ○ Mオマーン Oman □ P Hフィリピン Philippines
Antigot and Barbuta  □ A L アルベニア Albania		□ P L ポーランド Poland
□AM7ルメ=7Armenia		ロP Tポルトガル Portugal
□ A Tオーストリア Austria	□ I LイスラエルIsrael	□ R Oルーマニア Romania
□ A ロオーストラリア Australia	□ I MインドIndia	□R U□シア Russian Federation
□ A Zアゼルバイジャン Azerbaijan	□ I Sアイスランド Iceland .	
ロB Aボスニア・ヘルツェゴヴィナ Bosnia	□ J P 日本 Jepan □ K E ケニア Kenya	□ S iD スーダン Sudan □ S iD スウェーデン Sweden
and Herzegovina	□ K Gキルギスタン Kyrgyzetan	□ S G シンガポール Singapore
口 B B バルバドス Barbados	□ K P北朝鮮	□ S I スロヴェニ7 Slovenia
□B Gブルガリア Bulgaria	Democratic People's Republic of Korea	□ S Kスロヴァキア Slovakia
□ BRブラジル Brazil	□ KC R 韓国 Republic of Korea	□ S Lシエラ・レオネ Sierra Leone
ロB Y ベラルーシ Belarus	□ K Zカザフスタン Knzakhstan	□ T J タジキスタン Tajikistan □ T Mトルクメニスタン Turkmenistan
□ B Z ベリーズ Belize	口 L Cセント・ルシア Saint Lucis	1 101 PVV / 3 X 9 Y Turkmenistan
□ C Aカナダ Canada □ C Hand L I スイス及びリヒテンシュタイン	□ L Kスリ・ランカ Sri Lenka □ L R リベリア Liberia	□ T Nテュニジア Tunisia
Switzerland and Liechtenstein	ロレSレントLesotho	□ T R トルコ Turkey
□ C N 中型 China	□ L Tリトア=ア Lithuania	□ T Tトリニダッド・トバゴ
□ C ○コロンピア Colombia	□ L Uルクセンブルグ Luxembourg	Trinidad and Tobago
□ C R コスタリカ Costa Rica	🗀 L Vラトヴィア Letvia	ロ エ マ タンザニブ
CUta-n' Cuba	□MA₹≅y> Morocco	United Republic of Tanzania ロロムウクライナ Ukraine
□ C Z f x = Czech Republic	□MDモルドヴァ Republic of Moldova	ロU Gウガンダ Uganda
□ D Kデンマーク Denmark	□MGマダガスカル Madagascar	DUS 米图 United States of America
DDMF== Dominica	□MKマケドニア但ユーゴスラヴィア	
□ D Z アルジェリア Algeria	共和国 The former Yugoslav Republic of	□ U Z ウズベキスタン Ugbekistan
□ E Cエクアドル Equador	Macedonia	□ V Nベトナム Viet Nam
□ E E エスト= T Estonia	□MNモンゴル Mongolia	<ul><li>□ Y Uユーゴスラヴィア Yugoslavia</li><li>□ Z A 南アフリカ共和国 South Africa</li></ul>
ロE Sスペイン Spain	□MWマラウイ Malawi	2 2 Min / 7 / W Arings Gottle Africa
ロ F I フィンランド Finland	□MXメキシコ Mexico	□ Z Mザンビア Zambia
□ G B 英国 United Kingdom	□M Z モザンビーク Mozambique	ロ Z Wジンパブエ Zimbabwe
□ G D グレナダ Grenada	□N ○ノルクェーNorway	
	)の締約国となった国を指定するためのものである。 	
Δ	O	
ら除く旨の表示をした菌は、指定から除かれる。 出陣人	は、これらの追加される指定が確認を条件としていること	他の金ての国の指定を行う。但し、道配欄に二の宣言か と、遠びに数処口かり13月が極過する前に七の確認か 這の確認は、指定を特定する道知の差出と相応子登却及
び随思手数料の納付からなる。この確認は、優先日から		and the same and t

様式PCT/RO/101 (第2用紙) (2002年1月版)

顕書の倒考参照

#### 追記欄 この追記欄を使用しないときは、この用紙を顧客に含めないこと。

1、全ての情報を欺当する間の中に記載できないとき。

この場合は、「第…補の終き」(編書今を表示する)と表示し、記載できた い機の指示と同じ方法で情報を記載する ; 特に、

(i)出版人又は発明者として3人以上いる場合で、「就業」を使用できない

この場合は、「第四編の続き」と表示し、第四指で求められている間じ 慣績を、それぞれの者について記載する。

(ii) 第三個または第三機の枠の中で、「追記機に記録した指定値」にレ印を 付しているとき。

この場合は、「第立機の続き」、「第立機の続き」又は「第立機及び第五 捌の続き」と記載し、項当する出版人の氏名(名称)を表示し、それぞ れの氏名(名称)の次にその者が出版人となる指定国(広域幹許の基合 は、ARIPO特許・ユーラシア特許・ヨーロッパ特許・OAPI特許) erats.

(量) 第日欄又は雲立欄の体の中で、発明を又は発明を及び出版人である者 が、全ての指定国のための又は米国のための契明者ではないとき。 この場合は、「第三個の続き」、「第三個の統き」文は「第三個及び第立 機の統さ」と記載し、原当する発明者の氏名を表示し、その者が発射者 である粉定国(広域特許の場合は、ARIPO特許・ユーラシア特許・ - ¤ッパ特許・OAP ! 仲許)を記載する。

(iv) 常iV欄に示す代理人以外に代理人がいるとき。

この場合は、「第IV個の続き」と表示し、第IV値で求められている間じ 預報を、それぞれの代理人について記載する。

(v) 第V個において推定国又はQAPI特許が、「追加特許」文は「追加 旺」を伴うとき、又は、米田が「経練」又は「一部越続」を伴うとき。 この場合は、「箱V棚の続き」及び該当するそれぞれの指定国又はOA PI特許を表示し、それぞれの指定国又はOAPI特許の登に、保幹許 文は原出層の香母及び特許付与日文は原出原目を記載する。

(vi) 解写機において、便先権を主張する光の出版が6件以上あるとき。 この場合は、「前VI側の銃き」と表示し、第VI欄で求められているもの と同じ情報を、それぞれの先の出版について記載する。

2. 出版人が、第V指における雑誌の相定の宣言に関し、その宣言からいずれか の田を除くことを希望するとき。

この場合は、「確認の協定の支資から、以下の指定国を除く」と記載し、除 かれる菌名又は2文字の菌コードを表示する。

#### [第Ⅳ欄の続き]

~ IB any Wess 24 08

<sup>A</sup>10537 弁理士 加古 進 KAKO Susumu

「〒170-0013 日本国東京都登島区東池袋1-20-2 池袋ホワイトハウスビル807

Ikebukuro White House Building 807.1-20-2, Higashiikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 170-0013 Japan

11675 弁理士 隋水 英雄 SHIMIZU Hideo

〒102-0083 日本国東京都千代田区麹町4丁目6番8号 ダイニチ麹町ビル3階 3F,Dainichikojimachi Bld.,6-8,Kojimachi 4-chome,Chiyoda-ku,Tokyo 102-0093 Japan

12321 弁理士 高木 祐一 TAKAKI Yuichi

〒102-0083 日本国東京都千代田区麹町4丁目6番8号 ダイニチ麹町ビル3階 3F, Dainichikojimachi Bld., 6-8, Kojimachi 4-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan

9935 弁理士 日高 一樹 HIDAKA Kazuki 〒102-0083 日本国東京都千代田区麹町4丁目6番8号 ダイニチ麹町ビル3階

3F, Dainichikojimachi Bld., 6-8, Kojimachi 4-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan

11032 弁理士 渡邉 知子 WATANABE Tomoko

〒102-0083 日本国東京都千代田区麹町4丁自6番8号 ダイニチ麹町ビル3階

3F, Dainichikojimachi Bld., 6-8, Kojimachi 4-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan

供式PCT/RO/101 (追記用紙) (2001年3月版)

Oct	19	'05 16:24
	. •	
	• •	
<u>.</u> • •		

P. 06

第VI欄 優先相	金主張					<del></del>	·
以下の先の出版に基づ	5く優先権を主張する:						
先の出題日	先の出験番号			先の出顔	·	<del></del> .	
. (日, 月. 年)	İ	. 個內出		広域出題:*広地	* 17:45	国際出版:	
07.10.02	特顧 2002-293631	日本国	Japan				2451145
(2)							
(3)							
(4)	·						
(5)							
他の優先権の主	摄(先の出稿)が追記欄に記録	抜されている。					
☑すべて □留 *先の出酵がARIPO出	・ 半期原出頭の夏達き庁に対して 特許庁の長官)に対して請求する 更先権(1) 歴史・権(2) 頭である場合には、当該先の出席・ (規則 4.10(b)(ii)):	□ 優先権 そ行った工業所有	(3) 【 優秀	:権(4)	(5)	その他は追記	梅参照
第VIM 国際調							
SC40(.)	ISA) の選択 (2以				拾、いずれ	<b>れかを選択し二)</b>	父子コードを
・ 先の調査結果の利 出願日(B. 月	可用對來;当該關查 . 午)	の照会 (先の 出願書号	の調査が、関係を	査機関によって既に実  国名(又は瓜		されている <del>場合</del>	)
第VII棚 中立て							
この出願は以下の甲立	てを含む。(下記の政当する)	関をチェックし	、右にそれぞれの	つ申立て数を記載)		校ン立の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
無 VIII 根(i)	発明者の特定に関す	る申立て			1		
	出願し及び特許を存 出願人の資格に関す		國際出願日 (	こおける	:		<del></del>
	先の出願の優先権を 出願人の資格に關す		30炔出照日)	こおける	:		· .
	発明者である旨の申 (米国を指定国とす				:		
	たおいこならない例 <del>示</del> て	又注新規性	<b>と要先の例</b> タ	に関する中立	·		

Oct	19	'05	16:24	F
	•*			•

1	P.07	
•:	•***	*****

第13欄 照合欄:出願の書語		
この国際出版の紙様式の枚数は次のとおりである。 (a) 紙形式での枚数	この裏際出層には、以下にチェックしたものが恐付されている。	<b>*</b>
顧客(中立てを含む)	1.	. 1
明神寺 (配列表を除く) 1 1 枚	✓ 納付する手数料に和当する特群印紙を貼付した普西	. 1
請求の範囲	☑ 国際学務局の口楽への根込を証明する書面	1
要约登————————————————————————————————————	2. 🔲 個別の森任状の原本	
	3 包括委任状の原本	· <del></del>
	4. 包括委任状の多し(あれば包括委任状毎号)	· <u>*******</u>
	8. 配名禅師(著名)の欠落についての説明書	· <del></del>
明細書の配列表別分 (紙形以での出層の場合はその校覧 コンピュータ羅み取り可能な形式の有異を問わない。	5. 優先機舎類(上配第VI開の( )の参与を記載する):	
TP(b) & A)	7 国際出版の解釈文(翻訳に使用した實際名を記載する):	
. 會計 28枚	· _	
(b)コンピュータ読み取り可能な形式による配列表部分	コンピュータがためり可能なタクルナギンツのエストの	;
(1) コンピューク読み取り可能な形式のみ	(媒体の特殊(かわずがいた、CD-ROM、CD-R-Fのは)と社技もの 特別はの8に基づき機能する関係物がありための事と	# <del>#</del> +8)
(美麗祖州第 801 <del>9</del> (a)(i)	(1) 「国際出席の一部を構成しない」 (名前の何文は他)(年)(と中を付した場合のみ)	·
(fi) 一	(11) 「加」はの3に基づき場出する国際河流のための本しを含む油 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	加約38L :
配列表部分を含む媒体の種類(7Vキケブ・好・(2)、CD・	(010)	;
BOM、CD-& その他)と枝数 (追加的零しは右横9. (印に記載)		·
要約件とともに提示する図曲: 第2図	本国際出願の言語: 日本語	
解末間 出頭人、代理人又は共通の な人の氏る (Sは) を記載し、その次に押印する。	つて発売のからにおります。	
<b>重</b>	<b>作</b> 和男	
	受理官庁時入機	
1. 国際問題として抵出された審項の実際の登埋の日	<b>02.</b> 10.03	2. 欧丽
<ol> <li>国際出席として提出された書類を補完する書面又は図面 その後期間内に受察されたものの実際の受象の目(打正</li> </ol>		-   -
4. 等許協力条約第11条 (2) に接づく必要な補完の期間	内の受理の日	]
6. 出級人により特定された 国際調査機関 ISA/JP	6. 網遊子数将未払いにつき、国際調査機関に 調変用字しを送付していない。	
	国際事務局記入欄 ————	
記録原本の受理の自:		
マックナ/アの/101 (無鉄四条) (2001年2月間)	<del></del>	

25

明細書

血流可視化診断裝置

#### 5 技術分野

本発明は、超音波による血管中に流れる血液の計測に関し、特に血流速と圧力分布の計測に関するものである。

#### 背景技術

10 従来から血液の流れを知る方法として超音波ドプラ診断装置がある。これはプローブから発振される超音波と平行な血流の速度成分をドプラ効果によって検出し、プローブに近づく速度ベクトルと遠ざかる速度ベクトルをカラーで表示するものである。しかしながら、超音波プローブは通常皮膚に垂直にあてるため、皮膚と平行に走っている大部分の血管ではプロープから発振される超音波と平行な血流の速度成分が小さいため血流の速度表示が難しかった。このように、従来の超音波ドプラ診断装置では、血流速度ベクトルの3方向のうち1方向しか計測できないために、血液の流れを正確に表すことができなかった(例えば、特許文献1,2参照)。また、血管の破20 裂の予測に重要な血管内の圧力分布を計測する技術は現在のところ存在しない。

また、血管内の定常的な血液の流れに対しては数値シミュレーションが有効であると考えられるが、血管に分岐、曲がり、潰瘍などによる閉塞部がある場合、境界条件を求めるのが難しく、十分な計算精度が得られない。

さて、従来の数値シミュレーションにおいて、流れ場のシミュレーションとして、SIMPLER法が知られている(例えば、非特許文献1参照)。

このSIMPLER法を、図1に示したフローチャートで簡単に

説明すると以下の通りである(詳しくは、例えば非特許文献 1 を参照)。

ナビエ・ストークス式と連続式は、一般に次のように書ける。

#### 【数1】

 $\frac{\partial \mathbf{u}}{\partial t} = \mathbf{f}(\mathbf{u}, \mathbf{p}) \tag{1}$   $\mathbf{div} \mathbf{u} = 0 \tag{2}$ 

式 (1) は、速度ベクトルロの3成分 (u, v, w) に対する3つの一般化保存則をまとめて表したものである。また、式(1)(2)

10 では、密度ρは流れ場全体で一定であると仮定している。

連続式(2)を、座標を用いて表すと次式となる。

#### 【数 2】

$$\frac{\partial \mathbf{u}}{\partial \mathbf{x}} + \frac{\partial \mathbf{v}}{\partial \mathbf{y}} + \frac{\partial \mathbf{w}}{\partial \mathbf{z}} = 0 \tag{3}$$

15 この式を、格子点を中心とする体積 (コントロール・ボリューム) で積分すると次式になる。

#### 【数3】

$$(u_{\varepsilon} - u_{w})\Delta y \Delta z + (v_{N} - v_{s})\Delta x \Delta z + (w_{D} - w_{U})\Delta x \Delta y = 0$$
 (4)

20 また、速度uに関するナビエ・ストークス式を離散化した形式から 次式を得る。

25 式中の (ΣΒ<sub>j</sub> u<sub>j</sub>) は、3 次元の場合、 u<sub>w</sub> の周囲の 6 個の値の 和を表す。さて、式 (5) 中の右辺第1項を

#### 【数 5】

$$\hat{\mathbf{u}}_{w} = \left(\sum \mathbf{B}_{j} \mathbf{u}_{j} + \mathbf{S}_{w}\right) / \mathbf{B}_{w} \tag{6}$$

2

とおいて、これらを式 (4) に代入すると、圧力に関する一般化保 存則の式が得られる。

$$a_{o}p_{o} = a_{E}p_{E} + a_{w}p_{w} + a_{N}p_{N} + a_{S}p_{S} + a_{D}p_{D} + a_{U}p_{U} + S_{O}(\hat{u}_{w}, \cdots)$$
 (7)

- 5 上式は圧力方程式と呼ばれる。運動方程式(5)と、圧力方程式(7)を同時に満足する速度 u, v, wと圧力 p が 反復法により 求められるが、計算の安定化のため 反復の各ステップで、速度場が連続式を満足するよう補正を行う。 すなわち、誤差を含む圧力場 p \* に対する運動方程式の解を u \* 等とすると、これらは一般的に連続式を
- 10 満足しない。真の解を u (ベクトル) および p とすると、補正項 u ′ (ベクトル), p′を用いて、次のように表される。

#### 【数7】

$$\begin{cases} p = p' + p' \\ \mathbf{u} = \mathbf{u}' + \mathbf{u}' \end{cases} \tag{8}$$

15

上式を式(5)に代入し、周囲の速度補正量 u, / の効果を無視すれば、次式が得られる。

【数 8】  
$$u'_{w} = (p'_{o} - p'_{w})d_{w}$$
 (9)

20 これを式(8)に代入すれば、速度補正式が得られる。

#### 【数 9 】

$$u_{w} = u_{w}^{*} + (p_{0}' - p_{w}')d_{w}$$
 (10)

さらに式(10)を式(4)に代入すると、圧力補正量に関する離散化式が得られる。

25 【数 1 0 】
$$a_{0}p'_{0} = a_{E}p'_{E} + a_{w}p'_{w} + a_{N}p'_{N} + a_{S}p'_{S} + a_{O}p'_{D} + a_{U}p'_{U} + S_{O}(u'_{w}, \cdots)$$
 (11)

以上をまとめると、SIMPLER 法と呼ばれる流れの数値解析手法が得られる。

SIMPLER 法による計算手順のフローチャートを図1に示す。図1

るが、これは現実的には不可能である。

のフローチャートにおいて、まず、速度場を固定して、式 (6) から、  $u_w$  等を各格子点ごとに計算する (S102)。得られた値を用いて、圧力方程式 (7) より、圧力場 p を求める (S104)。 ナビエ・ストークス式 (5) により速度場を求める (S106)。圧力補正式 (11),速度補正式 (10) により速度を補正して (S108)、収束を判定する (S110)。これを収束されるまで繰り返すことにより、時刻ステップ n に関する解が得られる。

上述した流れ場の数値シミュレーションにより、現実の血流を再 現するには、ある時刻における血流の完全な状態(初期条件)と、 全ての時刻における境界面での状態(境界条件)を与える必要があ

なお、数値解析法(数値シミュレーション)に、実際の流れ場の 測定データをフィードバックするものとして、非特許文献 2~7が ある。非特許文献 2、3は正方形管路内の乱流場の解析であり、非 特許文献 4~7は正方形流路内におかれた角柱後流のカルマン渦の 解析である。非特許文献 2、3は流れ方向のある位置において速度 に対してフィードバックすることにより、誤差を部分的に減少させ ており、非特許文献 4~7は圧力差に対してフィードバックしてい る。しかしながら、血液の実際の流れをシミュレーションすること への適用や、流れ方向に複数の点をとって、速度に対してフィード バックするとともに、全体の誤差を一様に減少させることについて は記載されていない。

#### 【特許文献1】

特開2000-229078号公報

25 【特許文献 2】

特開2001-218768号公報

【非特許文献1】

早瀬:有限体積法(SIMPLER法),油圧と空気圧, Vol. 26, No. 4 (1995), pp. 407-413.

#### 【非特許文献2】

早瀬,林:計算機を援用した流動場の制御に関する基礎的研究 (流動場に対するオブザーバの構成),日本機械学会論文集,Vol. 62,No. 598 (1996),pp. 2261-2268.

#### 5 【非特許文献3】

Hayase, T. and Hayashi, S.: State Estimator of Flow as an Integrated Computational Method With the Feedback of Online Experimental Measurement, Transactions of the ASME, J. Fluids Eng., Vol. 119 (1997), pp. 814-822.

#### 10 【非特許文献 4】

仁杉, 武田, 白井, 早瀬: 実験風洞と数値解析を統合したハイブリッド風洞に関する基礎的研究(フィードバック則の検討), 日本機械学会, 流体工学部門講演会講演論文集, CD-ROM (2001), G803.

#### 【非特許文献 5】

15 武田, 仁杉, 白井, 早瀬: 実験風洞と数値解析を統合したハイブリッド風洞に関する基礎的研究(推定性能の評価), 日本機械学会,流体工学部門講演会講演論文集, CD-ROM (2001), G804.

#### 【非特許文献6】

Hayase, T., Nisugi, K., and Shirai, A.: Numerical Realization of Flow Field by Integrating Computation and Measurement, Proceedings of 5th World Congress on Computational Mechanics, Vienna, Austria, July 7-12 (2002).

#### 【非特許文献7】

早瀬敏幸「流れ場の数値シミュレーションと仮想計測」(計測と制御 25 第40巻第11号(2001年11月号)) pp.790-794

本発明の目的は、血管内の血流の速度を正確に表示するとともに、血液の圧力分布を表示できる診断装置を提供しようとするものである。

#### 発明の開示

上記目的を達成するために、本発明は、超音波信号を体内の血管に向けて放射し、反射した超音波信号を受信する超音波計測部と、受信した信号により、血管形状と血管内の血流の流速とを得る解析 5 処理部と、前記解析処理部からの血管形状から、計算格子を設定して血流速と圧力分布のシミュレーションを行うシミュレーション部と、前記解析処理部からの血流速と、前記シミュレーション部からの血流速との誤差を計算して、前記シミュレーション部にフィードバックするフィードバック部と、フィードバック後の前記シミュレーション部からの血流速と圧力分布の出力を表示する表示部とを備えることを特徴とする血流可視化診断装置である。

前記フィードパック部は、前記計算格子中の流れ方向に存在する 複数代表点に対してフィードバックを行うことが望ましい。

#### 15 図面の簡単な説明

第1図は、従来の数値シミュレーション(SIMPLER 法)のフローチャートである。

第2図は、本発明の実施形態の構成を示すプロック図である。

第3図は、血流のカラードプラによる表示例を示す図である。

20 第4図は、シミュレーションに使用する計算格子の例を示す図である。

第 5 図は、シミュレーションに与える速度の境界条件の例を示す 図である。

第6図は、フィードバックを行うための代表点の例を示す図であ 25 る。

第7図は、代表点に対するフィードバックを説明する図である。 第8図は、フィードバックによるシミュレーションのフローチャ ートである。

- 第 9 図は、フィードバックによるシミュレーション結果を示す図



である。

第10図は、計測融合シミュレーションと通常のシミュレーションの比較を示す図である。

5 発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の実施形態を図面に基づいて説明する。

図2には、本発明の超音波計測融合シミュレーションによる血流 可視化診断装置の全体構成がプロック図として示されている。

図2において、超音波計測部120は、超音波信号発生器122
10 からの信号により、人間110の皮膚112にあてられたプローブ
126から超音波パルスを送出している。送出された超音波は、血管114等で反射されたエコー信号となり、プローブ126を介して受信回路124で増幅・処理して、計測データ処理部200内の計測データ解析処理部220に送られる。プローブ126からは、例えば電子的に走査が行われて、一定範囲の像が形成されるように超音波を送出している。

計測データ解析処理部220では、エコー信号から断面面像を形成する断面画像形成部222, 血管の変位を計算する血管変位演算部224, ドップラ効果を利用して血管内の血液の流速を計算するの血流速演算部226があり、超音波計測の結果を演算している。これら計測結果は、表示インタフェース部260の表示処理部262により、例えば速度別に色分けした画像として、インターフェース266を介して表示装置140に表示される。

図3には、図2に示した表示処理部262による従来のカラード 25 プラの出力例が示されている。この表示は、断面画像形成部222 により生成された血管断面画像と、血流速演算部226により生成 された血流の超音波ビーム方向の速度成分である。(これについて は、例えば上述の特許文献1,2等を参照されたい。)

さて、この血流可視化診断装置は、血管や心臓の内部における血

25

流の速度や圧力の分布を超音波計測融合シミュレーションによって 演算する機能(計測融合シミュレーション部 2 4 0)を有している。 計測融合シミュレーション部 2 4 0 は、断面画像形成部 2 2 2 , 血 管変位演算部 2 2 4 からの血管断面画像を 2 値化して、計算格子を 生成する条件設定部 2 4 2 , 条件設定部による計算格子を用いて 流の数値シミュレーションを行う数値シミュレーション部 2 4 4 , 計測データによる血流速によるフィードバックを計算して数値シミュレーション部 2 4 4 にフィードバックするフィードバック部 2 4 6 を有している。この数値シミュレーション部 2 4 4 で行われる血 流のシミュレーションについては、例えば、非特許文献 1 , 2 を参 照されたい。ここで行われる数値シミュレーションでは、各格子点における血流の速度と圧力を求めることができる。

以下に、計測融合シミュレーション部 2 4 0 を詳しく説明する。 図 4 は、計測融合シミュレーション部における条件設定部 2 4 2 において得られる血管形状と計算格子とを示す図である。条件設定部 2 4 2 では、断面画像形成部 2 2 2 により生成された血管断節画像を 2 値化するとともに、流れの数値解析に用いる計算格子を生成する。後に説明する数値シミュレーション部 2 4 4 で行われる流れの数値計算で、生成された血管形状と格子点(縦線と横線の交差点) 20 における血流の速度ベクトルと圧力が評価される。

さて、超音波計測融合シミュレーションにおける流れの数値シミュレーションでは、対象領域の境界において速度あるいは圧力の境界条件を与える必要がある。図5は、超音波計測により得られた断面中心の血流速度の時間変化をモデル化したものである。上流断面において、血管壁に平行な一様流を仮定し、その時間変化を図5で与えるものとする。なお、実際の血流では必ずしも血管壁に平行な一様流の仮定は成立しないので、この境界条件による誤差が避けられない。超音波計測融合シミュレーションは、計測データのフィードバックによりこの誤差をキャンセルすることができる。

図6は、計測融合シミュレーションにおける代表点を示す図である。これらの代表点(図6ではA~Rの18点)に関して、フィードバック部246で、超音波による血流速度と対応する数値シミュレーション結果の誤差を求め、その誤差に応じた体積力を数値シミュレーションにフィードバックすることにより、数値シミュレーションの結果を実際の血流の値に収束させる。

SIMPLER法において、フィードバックは、体積力 f (ベクトル)を運動量保存式であるナビエ・ストークス式である式(5)の右辺の最後に加えて行う。

10 【数11】

$$u_w = (\sum_i B_i u_i + S_w) / B_w + d_w (p_0 - p_w) + f_w$$
 (5)

図7は、数値シミュレーション部244で行われる、代表点におけるフィードバックの説明図である。ここでは、代表点の1つである原来を例に説明する。計測と並行して数値シミュレーションを行っているが、その際得られた速度ベクトルをロ。として、2次元で表している。運動量の保存式であるナビエ・ストークス式より得られた速度ベクトルロ。の超音波ビーム方向の成分と、超音波計測により得られたビーム方向の速度成分ロm(ベクトル)の差を、ナビ20 エ・ストークス式の体積力項にフィードバックする。

実際のフィードバックに用いる体積力 f (ベクトル)の項は、

【数 1 2 】
$$f = -K \left( \frac{u_c \circ u_m}{|u_m|^2} - 1 \right) u_m$$

25 である。ここで、ベクトル $\mathbf{u}$  。=  $[\mathbf{u}$  。,  $\mathbf{v}$  。,  $\mathbf{w}$  。]、ベクトル $\mathbf{u}$  。=  $[\mathbf{u}$   $_{\mathrm{m}}$  ,  $\mathbf{v}$   $_{\mathrm{m}}$  ,  $\mathbf{w}$   $_{\mathrm{m}}$  ]、 $\mathbf{K}$  はフィードバックのゲインである。これで求まる体積力ベクトル  $\mathbf{f}$  を計算領域内の複数個の代表点に与える。

図8は、実施形態で数値シミュレーションとして、SIMPLE

R法を用いたときにおけるフィードバックを説明するためのフローチャートである。他の数値シミュレーションを用いることも同様にできる。なお、図1と符号が同じであるステップは同じ処理を行う。

図8において、計測データ解析処理部220から計測結果のum (ベクトル)を得て(S210)、フィードバックを行うために体積力を求める(S208)。そして、各代表点におけるナビエ・ストークス式に上述のように、計算した体積力を付加して計算を行う(S206)。その他のステップは、図1に示した処理と同じである。

この様に、超音波計測融合シミュレーションでは、超音波計測結 10 果と対応するシミュレーション結果の差に比例した大きさの体積力 f (ベクトル)を数値シミュレーションにおける運動量の保存式に フィードバックする。この体積力 f (ベクトル)の効果により、シミュレーションにおける速度計算値 u。(ベクトル)のピーム 方向速度は、対応する計測値 um (ベクトル) に漸近する。

図9に超音波計測融合シミュレーションの結果を示す。図9(a)は、血管断面内の圧力分布と、血流の速度ベクトルを示したものである。なお、見やすくするため、図では一部の速度ベクトルを表示しているが、実際には図4で示した全ての格子点上で、速度ベクトルと圧力が得られている。また、図9(b)は、超音波計測融合シミュレーションより得られた速度の情報を用いて、カラードプラの表示を行ったものである。

以下に、超音波計測融合シミュレーションの計算精度について、 25 通常の数値シミュレーションと比較した結果を示す。

図10は、図6で示した代表点Rにおける血流の x、y 方向の速度成分 u、v の時間変化を示す。計算の精度を正確に評価するため、図4で示した計算格子の格子点数を x、 y 方向にそれぞれ 2 倍とした計算格子を用いた数値シミュレーションを行い、その結果を整準と

10

20

して、精度の評価を行った。図10の実線は基準となる速度変動を表している。基準の流れ場における代表点A~Rのy方向速度成分 v を用いて、図7の方法でフィードバックを行った結果が図10の細線、また、フィードバックを行わない通常の数値シミュレーションを図4で示した粗い格子系を用いて行った結果が点線である。u、v ともに、通常の数値シミュレーションの結果は、基準解の活果と異なっているが、これは計算格子の間隔が十分でないために生ずる誤差が原因である。これに対して、フィードバックを行った計測融合シミュレーションの結果では、y方向の誤差によるフィードバックを行っているため、y方向速度 v に関しては、基準解とほとんど一致する結果が得られており、また、x 方向速度 u についても、通常のシミュレーションよりも基準解に近い結果が得られている。

#### 【表 1】

誤差ノルム
計測融合シミュレーション 0.0025
通常の数値シミュレーショ
ひ.0202

この表1で分かるように、通常の数値シミュレーションより、誤差は約1桁減少している。

#### 25 産業上の利用可能性

この診断装置を用いることにより、血管内の血流の速度や圧力の分布を正確に表示することができるので、大動脈乖離や潰瘍などの血管内部の物理形状的な病変の正確な診断と治療計画に役立てることができる。

#### 請求の範囲

- 1. 超音波信号を体内の血管に向けて放射し、反射した超音波信号を受信する超音波計測部と、
- 5 受信した信号により、血管形状と血管内の血流の流速とを得る解析処理部と、

前記解析処理部からの血管形状から、計算格子を設定して血流速と圧力分布のシミュレーションを行うシミュレーション部と、

前記解析処理部からの血流速と、前記シミュレーション部からの 10 血流速との誤差を計算して、前記シミュレーション部にフィードバ ックするフィードバック部と、

フィードバック後の前記シミュレーション部からの血流速と圧力 分布の出力を表示する表示部と

を備えることを特徴とする血流可視化診断装置。

15

2. 請求項1に記載の血流可視化診断装置において、

前記フィードバック部は、前記計算格子中の流れ方向に存在する 複数代表点に対してフィードパックを行うことを特徴とする血流可 視化診断装置。

20

25

#### 要約書

本発明は、超音波信号を体内の血管に向けて放射し、反射した超音波信号を受信する超音波計測部120と、受信した信号により、血管形状と血管内の血流の流速とを得る解析処理部220と、解析処理部220からの血管形状から、計算格子を設定して血流速と圧力分布のシミュレーションを行うシミュレーション部244と、解析処理部からの血流速と、シミュレーション部244にフィードバックとの誤差を計算して、シミュレーション部244にフィードバックするフィードバック部246と、フィードバック後のシミュレーション部からの血流速と圧力分布の出力を表示する表示部260、140とを備えることを特徴とする血流可視化診断装置である。

参照:第2図

F i g. 1 ...

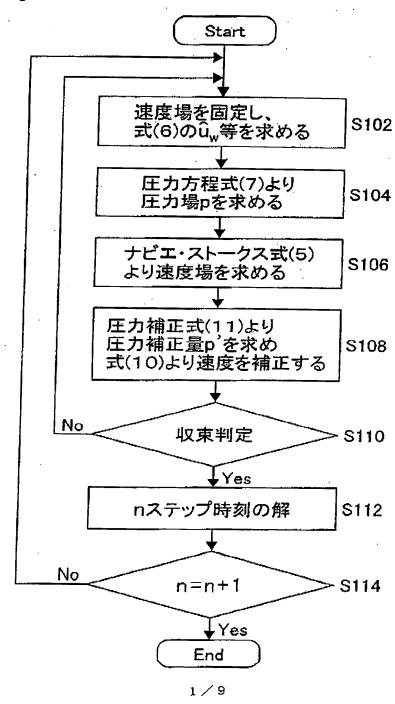
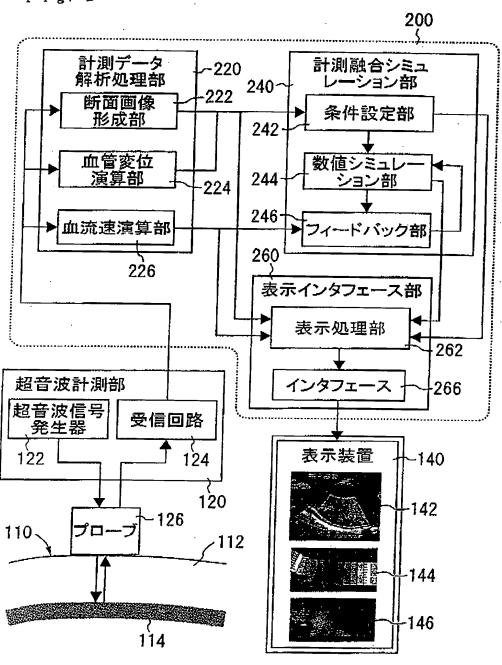


Fig. 2



2/9

Fig. 3 カラードプラ表示例

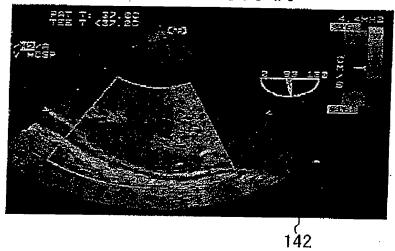


Fig. 4

# 計測融合シミュレーションの計算格子(32×20)

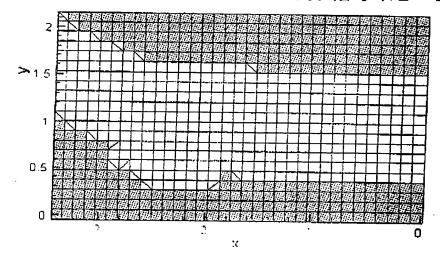


Fig. 5

# 血管上流側での一様速度境界条件

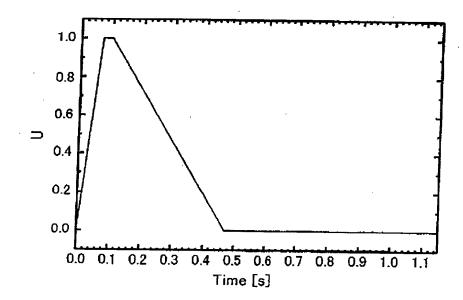


Fig. 6

## 代表点の定義

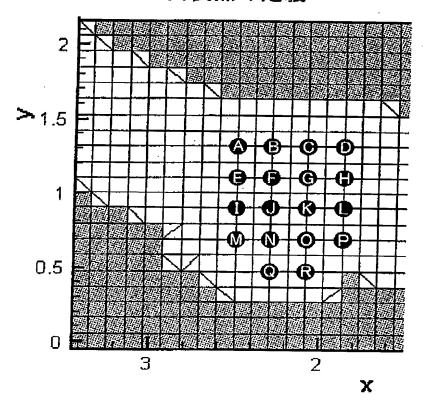
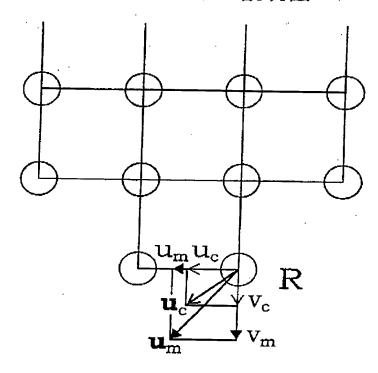


Fig. 7

## フィードバックの説明図



$$\mathbf{f} = -K \left( \frac{\mathbf{u}_c \circ \mathbf{u}_m}{\left| \mathbf{u}_m \right|^2} - 1 \right) \mathbf{u}_m$$

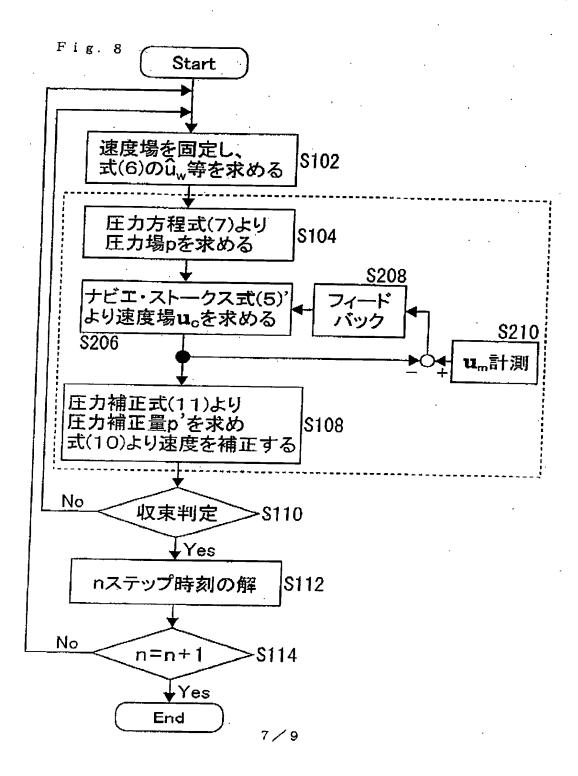
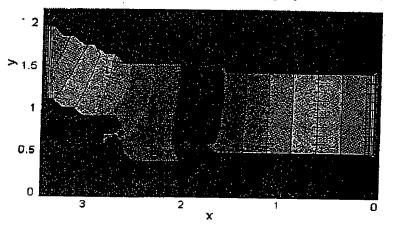


Fig. 9

# 計測融合シミュレーションの結果(t=0.2s)

## (a)血管内の速度ベクトルと圧力分布



## (b)カラードプラ表示

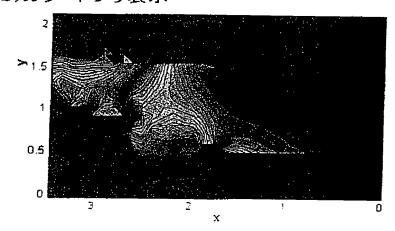
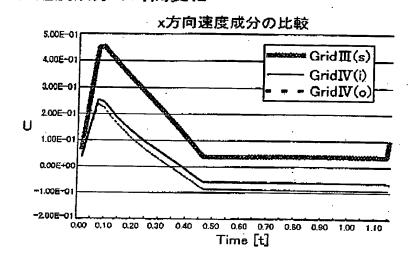
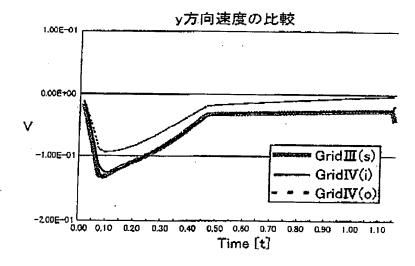


Fig. 10 計測融合シミュレーションと通常の 数値シミュレーションとの計算精度の比較 (代表点Rでの比較)

## (a)u速度成分の時間変化



## (b)v速度成分の時間変化



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.